

★ おおだて 市議会だより

94号

平成21年11月1日



平成21年 **9月定例会** (会期：9月1日～17日)

- 主な議案等審査結果 (9月定例会、第2回臨時会) … P.2
- 請願・陳情等 …………… P.3
- 一般質問 …………… P.4
- 各常任委員会の審議内容 …………… P.8
- 私も ひ・と・こ・と …………… P.10

ボランティアフェスティバル
北部老人福祉総合エリア
(平成21年10月4日)

議案等審査結果(主なもの)

9月定例会(会期：9月1日～17日)・・・議案等73件を審査しました。

内訳・・・条例案6件、単行案6件、予算案13件、報告3件、認定23件、意見書案1件、設置2件、
継続審査分請願4件・陳情15件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
○大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案 平成21年10月から平成23年3月までの間の出産に係る出産育児一時金を、現行の35万円から39万円に引き上げます。	原案可決
○大館総合技能センターに関する条例の一部を改正する条例案 指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定期間等を条例に規定するとともに、同センターの使用料金の体系を見直します。	
○大館市立幼稚園条例を廃止する条例案 市立幼稚園の入園希望者数が減少したことにより適正な運営が継続できなくなったため、本条例を廃止するものです。	
○大館市へき地保育所の指定管理者の指定について 大館市へき地保育所の指定管理者を以下のとおり指定します。 【指定する団体】 大館市十二所字大水口4番地5 社会福祉法人 大館市社会福祉事業団	
○平成21年度大館市一般会計補正予算(第4号)案 移動通信用鉄塔施設整備事業費(小泉地区)、地デジ難視聴対策事業費、生活支援給付金(DV被害者支援)、子育て応援特別手当交付事業費、女性特有のがん検診推進事業費、自殺予防対策事業費、八子公荘ペレットボイラー設置工事設計委託料、地域連携推進事業(市道23路線25カ所の舗装・補修)、除雪費、桂城小学校・田代中学校耐震補強事業費、農業・林業施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費、ふるさと・緊急雇用交付金事業 などにかかわる予算です。	

第2回臨時会(会期：7月8日)・・・議案等5件を審査しました。

内訳・・・予算案4件、報告1件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
○平成21年度大館市一般会計補正予算(第3号)案 比内福祉保健総合センター改修費、保育施設トイレ水洗化等改修費、斎場改修工事費、旧し尿処理場解体工事費、旧正札竹村旧館棟解体撤去工事費、市営住宅解体工事費、市民文化会館改修事業費、長根山陸上競技場第2種公認更新改修事業費、田代野球場スコアボード改修事業費、公共施設木質バイオマス利用促進事業費(ペレットストーブ87台)、自動体外式除細動器(AED)整備事業費(57台) などにかかわる予算です。	原案可決

●平成20年度決算特別委員会の設置について

平成20年度決算を審議する決算特別委員会が、9月17日（9月定例会最終日）に設置されました。11月上旬に審議を行い、12月定例会で認定の可否を問います。

委員は以下のとおりです。（◎は委員長 ○は副委員長）

◇一般・特別会計決算特別委員会

◎武田 晋（平成会） ○佐々木公司（いぶき21） 佐藤 照雄（平成会）
 小畑 淳（平成会） 伊藤 毅（平成会） 佐藤 久勝（平成会）
 藤原美佐保（平成会） 笹島 愛子（日本共産党） 吉原 正（いぶき21）
 安部 貞栄（いぶき21） 富樫 安民（市民クラブ） 高橋 松治（市民クラブ）
 斉藤 則幸（公明党） 以上13名

◇企業会計決算特別委員会

◎小棚木政之（平成会） ○田畑 稔（市民クラブ） 佐藤 一秀（平成会）
 畠沢 一郎（平成会） 藤原 明（平成会） 千葉 倉男（平成会）
 虻川 久崇（平成会） 明石 宏康（いぶき21） 八木橋雅孝（いぶき21）
 田中耕太郎（いぶき21） 相馬エミ子（市民クラブ） 奥村 隆俊（無所属）
 以上12名

請願・陳情

継続審査となっていたもの

○農地法の改正に反対する意見書の提出要請について	取り下げ
○保険でよい歯科医療の実現を求める意見書の提出要請について	採 択

－ 意見書の提出 －

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

《提出先》衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

一般質問

会期中の9月7日に一般質問を行い、次の5議員が市政を取り巻く諸問題について市の方針をたしました。

主な質問と応答の内容は次のとおりです。

○質問者(質問順)

①佐々木 公 司 議員
(いぶき21)

②小棚木 政之 議員
(平成会)

③田 中 耕太郎 議員
(いぶき21)

④富 樫 安民 議員
(市民クラブ)

⑤笹 島 愛子 議員
(日本共産党)

佐々木公司議員



新型インフルエンザ
について

〈問〉感染拡大にどのように対応するのか。

〈市長〉9月1日より、25の「登録医療機関」で受診可能となった。集団感染予防では各イベント会場の出入り口に消毒用アルコールを設置している。今後の感染拡大状況によってはイベントの自粛や中止も検討。学校における集団感染対策は、全小・中学校に消毒用アルコールを設置。学校閉鎖等は専門医と相談しながら、学校長が判断する。秋以降、第2波が予想されていることから、今後も感染拡大と重症化防止に向け、危機管理体制を強化していく。

「HACHI 約束の犬」

効果と今後の
取り組みについて

〈問〉リチャード・ギアから返事はあったのか。映画の反響と評価は。大文字焼きで、「犬」「犬」「犬」の3文字検討の機運は。ハチ公のふるさと大館らしさの構想は。

〈市長〉残念ながら、本人からの返事は届いていないが、市民の思いは十分伝わったものと思っている。松竹系での全国公開は大ヒット。大館公演でも市民の間で大きな話題となった。今年の「8分間の犬文字」は各メディアで大きく取り上げられ全国発信された。来年度以降の展開は実行委員会検討していただく。「犬文字」の恒例化なども含め議論願いたい。今年の犬文字の試みは、夏まつりの新たな可能性を示唆する画期的なものと考えている。ハチをテーマ



秋田犬の幼犬

にした町おこしを一体となって盛り上げ、今後も大館らしさがさらに明確に現れるよう、市民そしてハチ公とともにまちづくりにまい進したい。



8月16日大文字祭りでの犬文字

未収債権について

〈問〉未収債権にどのように取り組むのか。

〈市長〉市税については、納税相談窓口の開設や県主導で市町村が参加し来年度設立予定の滞納整理機構への参画により、未収金の徴収に努めるとともに、債権や不動産・動産の差し押さえなどの滞納処分を強化。税外収入については請求を強化するとともに悪質な場合は法的措置で回収に努める。

認知症予防について

〈問〉市の認知症の実態は。
〈市長〉6月の調査結果では、

在宅の重度認知症は65歳以上の人口の約1%に当たる256人で、軽度を含めると2174人。認知症対策は「予防」「早期発見」「家族への支援」「認知症への理解」などが重要と考える。予防対策に重点を置き「閉じこもり予防」や「介護予防教室」を開催。高齢者が生き生き暮らせる環境づくりにも取り組みたい。

小棚木政之議員



政権交代による市政及び市経済への影響と今後は

〈問〉政権交代で地方行政は地域経営ビジョンと結果責任が問われる時代に突入した。自主財源が4割しかない当市は国や県に頼ることに慣れてしまっていないか。大館市は時代の変化に対応できるか。コンサル任せて

はなく、みずからのアイデアと汗で体力のある大館市をつくるべき。

〈市長〉政権交代に伴う地方交付税の動向を注視している。新政権マニフェストにある自動車関連諸税の暫定税率廃止に伴う減収は年2億円ほどの見込み。全国市長会等を通じ交付税等の安定的な確保を働きかけるほか、企業の新規投資を呼びこむ努力をする。

〈問〉地元選出国会議員への対応は。誘致企業だけでなく地元企業の体力強化を進めるべき。

〈市長〉与野党2人の議員に対し、ケースバイケースで活用させていた。地元企業育成は考えているが、誘致企業は全面的な新規投資であり自主財源の確保につながる。

定住自立圏構想

について

〈問〉北東北の拠点都市、県北でのリーダーシップを標榜しながら、なぜ合併一市圏域型中心市か。こうした政策こそ周辺自治体と呼びかけ、真のリーダーシップを発揮すべきでは。

〈市長〉合併から5年目、新市の均衡ある発展と機能分担などを検証しながら判断した。今後さまざまな機会に近隣自治体の意向を伺いながら、新たな広域圏での取り組みも検討する。

観光基本計画を 早急に策定し

広域観光の連携を

〈問〉市の観光政策の大方針が示されず民間や近隣自治体の足かせになっていないか。早期に方向性を示し連携行動すべき。

〈市長〉大館地域観光振興協議会の中で観光戦略の合意形成を図りながら、早期に観光基本計画を示す。

〈問〉大館固有の記念物などの民間保護団体等への依存を改め、市として積極的に関わるべき。

〈市長〉後継者不足は喫緊の課題と認識。保護方策を講ずる。



7月19日に発生した豪雨の状況
(長木川 清水町南地区)

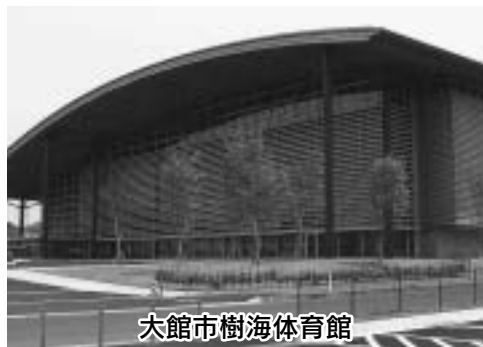
洪水・防災対策

について

〈問〉松木・清水南地区の堤防改修の要望活動。

〈市長〉沼館地区の下内川とあわせて整備・維持管理を要望する。

体育施設等の 利便性向上を



大館市樹海体育館

〈問〉体育施設の利用者懇談会等を設置し、市民ニーズに対する改善を早期に。

〈市長〉利用者懇談会等を組織し、年次計画により改善する。

行政視察の 受け入れ状況 (21年度上半期)

〇4月9日	北海道紋別市	4名
〇4月20日	観光振興について	
〇4月20日	東京都立川市	2名
	レアメタル	
〇4月24日	回収事業について	
	新潟県上越市	6名
	扇田地区まちづくり	
	交付金事業について	
〇7月9日	神奈川県秦野市	7名
	大館樹海ドームについて	
〇7月22日	青森県平内町	7名
	ペレットの活用について	
〇7月28日	高知県宿毛市	11名
	学力向上に係る	
	取り組みについて	ほか
〇8月4日	鳥取県米子市	2名
	扇田地区まちづくり	
	交付金事業について	
〇9月24日	青森県中泊町	7名
	比内地鶏の飼育	
	ブランド確立までの	
	技法について	

田中耕太郎議員



地方分権について

〈問〉地方分権一括法が平成12年4月から施行され地方の時代と言われて久しいが、新政権の民主党も地方分権改革のための国と地方の協議機関の設置を追加修正し地方分権改革がスタートすることになっている。末端の自治体連合たる地方から声を大にして政権に物申すべきと思うわけだが、全国あるいは東北市長会が、どのような評価をしたのか。

〈市長〉全国市長会は、要請事項に関する検証を行っており、民主党マニフェストに対して国家像やその実現のための政治手法が明確に示され評価している。

〈問〉地方分権案の後先を分析する事務事業がなされているか。

〈市長〉市民サービスの向上や市民の利便性につながることを

基準に自主的な判断に基づき権限移譲を受けることが基礎自治体である市町村の役割の明確化につながっていくと考える。

今後の税収

見通しについて

〈問〉今後の税収見通し、道路財源への影響は。

〈市長〉前年度比で、個人市民税6900万円減、法人市民税1億200万円減の予算を組んでいる。暫定税率廃止で本則税率のみとなれば年間約2億円減収する。

〈問〉軽自動車の未納対象物件を調査すべき。実体のないものは職権での廃止手続きも必要でないか。

〈市長〉軽自動車税は、課税対象数が多いが実体のない車両へ賦課が繰り返されぬよう調査・届出の徹底を呼びかける。

〈問〉ふるさと納税は重要。子供のころから「ふるさと教育」に取り組むべき。

〈市長〉ふるさと納税の趣旨を本手とし児童・生徒が主体的に地域貢献する機会を設ける。

地上デジタルテレビ普及への支援について

〈問〉管内がデジタル波でカバーされるのはいつか。

〈市長〉2011年3月までに市内全域をカバーし、辺地共同

視聴施設のデジタル化対応は地元組合運営の共同視聴施設のうち8施設について関係予算を計上し改修を支援していく。



改修済みの沢尻テレビ共同受信施設

〈問〉地デジ移行に対し、生活保護世帯、市営住宅共同部分についてどう対処するのか。

〈市長〉低所得者世帯・障害者世帯に対し、社会福祉協議会で生活福祉資金貸付を行っており、市営住宅の共同部分は国の制度を活用しながら、本年度と来年度の2カ年で整備する。

鳳凰山の大字を美しい花文字に

〈問〉シバザクラや菜の花などを植え、世界一の美しい花文字で通年観光の一つの資源にできないか。100年先を見越し、新たにつくる必要はなく、少し

の費用と手間をかけ、四季を通じて観光客の誘致に役立つと思うが。

〈市長〉大字焼きは昭和43年に石川市長の発案で始まった。3画の総計450メートルと大きく、今後、実行委員会等で議論していただきたい。

富樫安民議員



病院改革プラン

について

〈問〉20年度決算からみて策定内容は「そうあってほしい」という目標数値で現状からみれば達成は無理ではないか。

〈管理者〉収益は医療の質の向上、医師増員に伴う患者数の増加等で増収となったが、費用は旧本館棟の解体や人件費増で収支は純損失となった。医療サービスの決算の充実により経営改



リニューアル後の大館市立総合病院

善に向けて着実に取り組んで達成したい。

〈問〉医師・看護師等は長時間勤務で疲れている。職場環境も改善し魅力ある働きやすい病院づくりをしないと確保も難しい。その対策は。

〈管理者〉最新の医療機器の整備、学会への参加支援、メディカルアシスタントの配置により過重労働緩和に努めている。医師確保は弘前大学医学部との連携をより強め充足したい。看護師も来年度は地元の見護福祉大から8名の採用を予定している。

〈問〉新患受け入れ体制に「断られた」との不満の声が多い。「私たちの病院」「市病が安心」との思いが強い。市民にもっとやさしい対応を。

〈管理者〉経験豊富な看護職員

を配置し患者への相談に応じている。新患への対応、待ち時間が長いとの苦情は多く申しわけない。現医師数では非常に厳しい地域の開業医とも連携し受診を進めている。より質の高い医療提供に努めたい。

雇用不安対策は

〈問〉地域経済は不況から抜けだせない。雇用情勢は悪化し、ハロー・ワークは職探しであふれている。その対策は。

〈市長〉国の雇用創出交付金を活用し確保に努めている。「雇用の場拡大」が最も有効と考え企業誘致を進めている。ニプロ関連の規模拡張による雇用創出に期待している。

〈問〉金の卵といわれた高卒者の求人は全国的にも前年比で半減、将来を夢見る若者には気の毒だ。行政課題としての対策は。

〈市長〉県内企業の求人も半減し、数値として最低。地元は医療機器製造企業から安定した求人により昨年比増だが、職種の選択肢もあり先行きが不安。地元企業へも求人増を呼びかけている。

集落の再生に向けた

援助を

〈問〉廃校舎再活用など地域座談会・アンケートへの提言に対応し活力ある“ムラづくり”を。

〈市長〉旧山田小への生ハム工場の誘致、越山小体育館の夜間の解放などにより県のチャレンジ支援事業にも選定された。今後も住民の意思を尊重し、公共施設を再活用した地域の活力に努めたい。



旧山田小学校校舎

笹島愛子議員

国が進めようとしている
社会保障カード(仮称)

について

〈問〉この社会保障カードは年金手帳、健康保険証、介護保険証等を一枚のカードに集約することを理由に番号を統一してい

くことなどとも言われ「社会保障番号制の導入」の方向に沿ったものであることは明らか。これは、国民の自由とプライバシー、納税者の権利の保護にかかわる危惧すべき重大な問題であると言わなければならない。そして国民総背番号制にも道を開くもの。国に見直しを求めること。

〈市長〉社会保障カード計画は、国民一人一人が社会保障分野でITの利点を享受できることを目的として進められておりメリットもあると思う。しかし、一方ではご指摘のとおり、プライバシーの侵害や情報の一元管理、いわゆる国民総背番号制に対する不安など、日本弁護士連合会を初め、各方面からさまざまな意見が出されていることも承知している。本市としても必要に応じて意見を述べていく。

大館市定住自立圏

中心市宣言について

〈問〉この構想は「中心市とその周辺市町村からなる圏域ごと



長根山からの大館市内

に必要な都市機能と生活機能を確保し定住を図ることを目的としており、その取り組みに対しては毎年4000万円を基本とする特別交付税が措置され、充当率の高い起債も利用で「とあるが、これらは本当にメリットであると考えているか。

〈市長〉起債事業の選定に当たっては、真に必要な事業を精査し、実施計画である「圏域共生ビジョン」に反映させていきたい。

広報の月1回発行の効果と

改善点の検証を

〈問〉月1回発行は市民に定着したと思われるが、その分一回の情報量も多くなり読むのが大変との声もある。そこで一つ提案がある。以前、税金納付書袋

が配布されたように広報の保存ケースのようなものを配布したらどうか。また、月1回発行になり、配布書類数も多く行政協力員等の負担が重くないか。意見等を聞いて検証を。

〈市長〉広報をなくさないよう保存ケースの配布については他市の状況も踏まえ検討したい。また、行政協力員の負担については一度に配布する量が2倍になり大変だとの声もある一方、月1回になってよかったとの声もある。今後、配布方法がうまくいっている例なども紹介するなどしたい。



過去に発行された「広報おおだて」



厚生常任委員会では、矢立育
成園・白沢通園センターを現地
調査した。知的障害者の授産施
設として、「地域での共生」「社
会的・経済的自立の促進」「生
活の質の向上」を基本的な考え
方として、さまざまな作業が行
われていた。

教育産業常任委員会

◇学校教育環境適正化に向けた
行動計画について

矢立地区、花岡地区における学校統合に伴う説明会の開催状況が報告された。保護者からは「制服や校章など新しい学校のこと」「通学方法や通学路の整備のこと」「部活動のこと」「統合年度や合意の方法のこと」などについて多くの質問や意見が出され、学校統合に対する不安や戸惑いを感じられた旨報告され、委員からは、学校の統廃合は教育だけではなく、地域の問題でもあるので、地元との協議を重ね、保護者や地域住民の不安が払拭されるような対応を求める意見が出された。



花岡・矢立・大館第二 3中学校統合説明会
(北鹿新聞社提供)

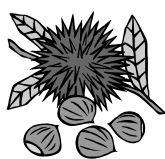
◇大館市農業公社における
田代地域の耕作放棄地の

現況調査状況について



田代地域の耕作放棄地

市が委託した遊休農地等利用業務について、市農業公社が田代地域の耕作放棄地の現況調査を終え、所有者に対し耕作放棄地の利活用に向けた意向調査を実施し、現在、取りまとめ中であることが報告された。田代地域の現況調査の集計では、水田の耕作放棄地は1097件、1万4071・9アールであることなどが報告された。



建設水道常任委員会

◇林道大滝線の市道認定と
整備について

JR花輪線大滝沢踏切を現地調査

市が管理する林道大滝線について、狭隘で踏切に警報装置等がなく過去に列車と乗用車との衝突事故が発生。地元からの改良要望を受け、一旦はJRとの協議がまとまったがその後JRより予算確保ができない旨の回答があり、検討の結果、市道認定したうえで国の地域活力基盤創造交付金事業を活用し平成25年度から約1億3000万円の事業費で踏切と道路改良を実施したい旨が報告された。総括質

疑で委員から「たとえ55%の補助金がある交付金事業でも残りの45%は市費を投じることとなる。踏切改良についてはあくまでもJRとの共同事業で進めるべき」との問いに、市長は「JR側の回答に大変驚いているがこの地域の道路や踏切改良の必要性については御理解願いたい。しかし、新政権の暫定税率廃止により、この交付金事業の存続さえも危ぶまれる。交付金事業がなくなれば踏切改良も遅れると思う」と答弁した。

◇旧正札竹村ビルの

経過について

馬喰町側の1階への入居が予定されている秋田県男女共同参画センターの改修工事が順調に進んでおり、10月1日から供用開始する旨報告された。また、旧館棟解体後にできる南北通路については、大町商店街振興組合で賑わい創出のため市日や屋台村などの「ハチ公横丁」として活用する予定であることが報告された。

◇除雪について

今回の補正予算に計上された除雪経費について、総括質疑で委員から「身体障害者・高齢者・女性世帯の屋根の雪下ろし

等の除雪支援の充実を」との問いに、市長は「住宅内の除雪に困っている人は多い。ボランティア等を上手に組み合わせ、困っている方々に今年の冬から対応できるよう要望を聞いていく」と答弁した。



平成18年豪雪時の除雪風景



私もひ・と・こ・と

⑤

この「コーナー」ではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

放し飼い 比内地鶏ふるさと牧場

阿部 重信さん (大谷)



「環境を生かした教育を」

私は、23年前にUターンして比内地鶏の生産販売に全力で取り組んでまいりました。3000羽から始めた飼育羽数が、昨年、J Aの部会全体で28万5000羽まで増やすことができました。今回は比内地鶏の話ではなく、学校の統合問題について、ひ・と・こ・と

と言いたいと思います。私は3人の子どもがいますが、縁あって長年にわたりPTA活動に携わることができました。高校のPTA会長の時に、大館高校・大館工業高校・大館桂高校の3校統合問題に携わりまし

たが非常に難しい問題で、いまだに細かい問題が残っているようです。振り返ってみれば、私は比内地区の4つの中学校が統合してできた比内中学校の3期生として初めて卒業式を講堂で行いました。その後、八木橋小学校が西館小学校に、三岳小学校が東館小学校に統合になり、今、また大葛小学校を東館小学校に統合するという話が出ています。皆さんは、大葛小学校の環境をご存知でしょうか。校庭には土俵・キャンプ場があり、屋上には天体望遠鏡まであります。このような素晴らしい環境の学校はなかなかないと思います。この情報を外に向けて発信して、県外から子どもたちを受け入れるような取り組みをしてはいかがでしょうか。長野県には山村留学という先進的なシステムがあり、それを参考にされてもよいと思います。行政は統合する理由として、「複式学級の解消と競争力を身につけるため」としていますが、小さな学校だか

らこそ学べることもあります。連携意識の強化、思いやりの心、何よりも地域とのかかわりを通して人とのかわり方を学べるということです。マイナスイ面もあるとは思いますが、それも含めて特徴を持たせた計画を考えてはいかがでしょうか。少子化の影響でこれからも統合問題は出てくると思います。ただ統合するだけではなく、環境を生かした特徴ある学校づくりをお願いしたいと思います。

議員の皆様には、子どもたちがよりよい環境で学べる有効な方法を考えていただけますよう、よろしくお願いいたします。



大葛小学校

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 4317108 (直通)

編集後記

今回の総選挙で自民党から民主党に政権が交代し、鳩山内閣によるさまざまな見直しがスタートしました。その中で、補正予算の見直しや国の来年度予算編成の遅れなどあれば、市の来年度当初予算編成への影響が危惧されます。

9月定例会の一般質問では、私の知る範囲では最小の5人の登壇で、2日間の予定が1日で終わってしまいました。いささか残念・・・議会だより93号から初めて議会報の委員となりました。市民の皆様と議会とのパイプ役として、見やすく、わかりやすい議会だよりを目指して頑張ります。(佐々木公司 記)